

<年長児1期のねらいから>

1期のねらいにありました「年下の子に寄り添い、触れ合って遊ぶことで年長児になった気持ちを育む」では、お友だちとかかわりながら楽しく遊ぶ姿の中で、どのような遊び方をしたらトラブルが少なくなるか、ルールを考えるながらクラスで「○○したらどんな気持ち」「○○はどんな気持ちだった」「○○な時どうしたらいいかな」など。そのつど子どもたちに問いかけながら「思いやりの気持ち」「共感する気持ち」「協同する気持ち」などのいろいろな気持ちを育んでおります。自分から積極的に声をかけることで遊びが広がり、元気にお友だちと遊ぶ子どもたちですね。これからも保育教諭とお友だち同士のコミュニケーション「会話」を楽しみながら、また、ほめて信頼関係をきづきながら、子どもの成長を促して参ります。遊びを通して「規範意識」を育んで行って欲しいと思います。(榎本)

【ほめ方 三つのポイント】

「なぜ、ほめるのか」という問いに対して、やはり「子どもの成長をうながすため」という答えが多いのではないのでしょうか。「子どもの成長をうながす」ようにほめるためには、下記に示す三つのポイントが大切です。

- ① 何がよかったか具体的にほめる
- ② 結果だけでなく、その過程もほめる
- ③ ほめることによって子どもを動かそうとするのではなく、感動を伝える

紹介：※規範意識とは、

[規範意識を育む ほめ方・叱り方 - 京都市情報館](http://www.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/kenkyu/outlines/h22/)

[www.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/kenkyu/outlines/h22/...](http://www.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/kenkyu/outlines/h22/)

を、検索してみてください。とても分かりやすくなっています。



<子どもの姿エピソード紹介> (小沼・鈴木)

A君：ブロックであそびたいなー、でも、声がかげられない様子

B君：たくさん持ってるから、貸してあげる、一緒にあそぼう

A君：ありがとう。何作ってるの？どうやってつくるの？

B君：○○をこうして、○○をかさねて・・・○○と○○をここにあわせて・・・

と一生懸命教えるB君の姿に、自然に周りの子どもたちが集まっています。完成したときに周りのおともだちから拍手、大きい剣ができました。はずかしげなB君でしたが、得意なことを紹介できて素敵でしたね(^^♪

<どんな気持ち？どうしたらいいかな？>こんなお話をしました

- ・たくさん持っていたら、一人で使わないで、お友だちに貸してあげる
- ・ひとりでいつまでも使わないで、お友だちと交換して使う
- ・順番をきめて使う
- ・いいよ！一緒にあそぼう。と声をかける

など、いろいろな声が子どもたちからきこえてきました。何度も繰り返しながらいろいろな気持ちを、伝えていきたいと思います。(担任)